

世は アンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story まだ80歳。仕事も趣味もエステも、続けることで道が開けました。



今月ご登場頂いたのは、なんと御年80歳という堂満 幸子さん。撮影後にお話も伺ったのですが、後日ご丁寧に手記を寄せてくださいました。あまりに素敵な内容でしたので今回は幸子さんの文章を一部抜粋してご紹介したいと思います。

主婦業の傍ら、まるで門外漢であった私が自宅のすぐ近くに開所した郷土誌^{*1}の編纂事業で史料集出版の仕事に携わり、そこで初めて古文書というものに会い、3年余り経た後に、今度は明治100年記念事業の一環として開始された「鹿児島県史料」^{*2}の編纂事業に従事することになりました。職場の異動^{*3}はありましたが、古文書の解読というのが私の主な仕事で、リタイア後の今もお手伝いをさせていただいています^{*4}。2年後は、明治150年になりますよね。感慨深いものがあります。

九死に一生を得た大事故から救出される時に「もし生き残れたら綺麗になれるなら何でもする」「人生を謳歌する」と思い決め、五十路でエステWAMと出会い、薦められた化粧品が気に入ったのがきっかけで通うようになりました。美容面だけでなく、スタッフの方々との何気ない会話の中でなんだか心身ともにリフレッシュできる、そんな心地良い空間が体験できて、内心自分へのご褒美、と思っています。現在、実年齢より幾らかでも若く見られるとしたら、それはワムさんのお陰でしょうね。感謝しております。

同じ頃に、プールにも週一くらいで通ってまして、1000mlほど続けて泳げるようになったり、そのあとには歌にハマりました。歌は、毎年末に開催される県民第九を聴きに行き、歌ってみたいと思っていた矢先、友達から誘われ、おずおず参加したのが病みつきに。昨年末の出演で12回目になりました。そして、この第九参加がきっかけで、おかさんコーラスの一団員となって10年になります。現在、今秋に開かれる演唱会に向けて練習に励んでおります。

何かを始めると可能な限り続ける。そんな私の生き方にエールを送り続けてくれていた夫にも4年半前に先立たれ、何もかも途絶えてしまいそうになりましたが、何とか復活している現在、自分の年齢に「まだ」を冠して元気を出して、これからも仕事と趣味の両立？を目指して、長生きしたいものだと思っています。

(文/堂満 幸子さん)



anne(アンヌ)はcoletteのお姉さんの存在です

堂満 幸子 さん(80歳)

Yukiko Doumitsu
鹿児島県史料編纂委員

Hair&Make担当
AgeeWAM 鹿児島店

(脚注)

- *1 出水市郷土誌編集委員会事務局
- *2 維新史料編纂所
- *3 歴史資料センター-黎明館 資料調査編集員
- *4 平成9年度～「鹿児島県史料」編纂委員